

第31回 酪農試験場フォーラム開催要領

酪農・畜産の最も重要な役割は、安全な生産物を食料として消費者へ供給することですが、そのためには生産工程の意識的な管理が重要です。国では近年、畜産における農業生産工程管理（Good Agricultural Practice：GAP）の取組み拡大を推進しています。GAPとは、食料の安全性や農業生産活動の持続性を確保するため、食品安全・家畜衛生・環境保全・労働安全・アニマルウェルフェアに関する法令等を遵守するための点検項目を定め、これらの実施・記録・点検・評価を繰り返しつつ生産工程の管理や改善を行う取組みのことです。

2020年には東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が決定されました。オリンピック・パラリンピックの場では「持続可能性」が重視されるようになってきています。2020年の東京大会でも、この持続可能性の観点から、必要な食材確保においては調達基準が定められており、その基準の中でGAP認証の取得が求められています。さらに、オリンピックの開催だけではなく、今後の畜産物輸出拡大や農畜産業の国際競争力の強化を図る観点から、GAPの取組及び認証取得の拡大を図っていく必要があるといわれています。

そこで、第31回目を迎える酪農試験場フォーラムでは、畜産GAPについての理解を深めるため下記のテーマで開催を企画しました。なお、当フォーラムでは、配布資料に再生紙を利用するなど環境に配慮した運営に努めますのでご理解願います。

テーマ：酪農・畜産における農業生産工程管理（GAP）を考える

日時：平成30年11月14日（水） 13:00 ～ 16:15

場所：酪農試験場 講堂

〒086-1135 標津郡中標津町旭ヶ丘7番地（0153-72-2004）

主催：（地独）北海道立総合研究機構 酪農試験場（旧称「根釧農業試験場」）

後援：根室生産農業協同組合連合会、北海道根室振興局、北海道釧路総合振興局

===== プログラム =====

- | | | |
|---|---------------------------|-----------------------|
| 1 | 開 会 | |
| 2 | 開会あいさつ | 13:00～13:10 |
| 3 | 基調講演 | 13:10～14:00 |
| | 「畜産GAPと北海道農政におけるその取組み」 | |
| | | 北海道農政部畜産振興課 盛 文子 主査 |
| 4 | 話題提供 | |
| | 「酪農における家畜福祉を考える」 | 14:00～14:45 |
| | | （大）北海道大学 近藤 誠司 名誉教授 |
| | *** 休 憩 *** | 14:45～15:00 |
| 5 | 話題提供 | 15:00～15:45 |
| | 「酪農初のJGAP認証取得 ～経営戦略上の意義～」 | |
| | | （株）Kalm角山 川口谷 仁 専務取締役 |
| 7 | 総合討論 | 15:45～16:15 |
| 8 | 閉 会 | 16:15 |

